

# 凜と立つ

誠心一筋に生き 人の幸せの支えとなれ  
多治見西高校附属中学校だより NO 8  
2017/11/29(水) 発行

## さまざまなことが心に刻まれた3年生沖縄研修

校長 湯原 定雄

11月4日から3泊4日で3年生は沖縄研修に出かけました。生徒たちにはさまざまなことが心に刻まれたようです。どこかの一瞬やその場面がこれからの人生において、「種」となって大きく成長してほしいと願っています。3年生「言語」の授業では、「沖縄研修で最も印象に残った場面・瞬間」を文章にし、皆で共有しました。その一部を紹介します。

### じんぶん学校で見た星空

じんぶん学校での夜、私は友だち二人と、浜辺の方へ向かいました。……三人で浜に寝転がりました。そうして空を見ると、きれいな夜空が目に入ってきました。美しい月と星。……美しい夜空でした。海の方からは、波の音が聞こえました。波の音を聞きながら夜空を見ていたとき、何よりも心に残った時間でした。そのまま三人で、しばらく空を眺めていました。あの空そしてあの時間は忘れられません。(女子)



### 沖縄と米軍基地

僕は伊江島で島の人から聞いた話が忘れられない。伊江島の主要な産業の一つが黒毛和牛の子牛の出荷だけけど、その子牛が死んでいっているという話でした。米軍のヘリコプターが電柱の2、3m上、パイロットの顔が見えるくらいの低いところを毎日のように飛んでいる。騒音で牛にストレスがかかり、体調をくずしたり死んだりする子牛が増えているそうです。なかには廃業した人もいるとのこと。……今回の研修で僕は沖縄米軍基地の問題はテレビで伝えられているよりもいろいろな問題があって、もっと身近なものだと知りました。そのことについて考えなくてはならないなと思いました。(男子)



### ひめゆりの塔

ひめゆり隊の人たちの顔写真と名前、どんな子だったのかが一人ひとり書いてありました。……そこには「おとなしい子だった」「いたずら好きの子だった」「いつも笑顔の絶えない子だった」など、私たちのクラスにも普通にいそうな子ばかりで、きっとこの子たちはつらくて、こわくて……でも「お国のために」と仕事をしていたんだろうと思うと、つらかったです。(女子)

、多感な15歳という時期に、日常では出会えないさまざまな自然・人・出来事・歴史に出会う体験はとても大切です。人の心を広げ世界を広げます。

今年も沖縄研修は一人ひとりにそうした体験と思いをしっかりと生み出したようです。

### 12月の主な予定

2日(土) 入試講習会(午後 6年生対象)  
5日(火) 委員会(7限)  
7日(木) スキー研修レンタル合わせ(1・2年生)  
9日(土) 休業日(第2土曜日)  
13日(水) 職員会議のため生徒一斉下校(バス16:25)  
15日(金) 3限授業(4限～6限の授業)  
午後保護者懇談会

16日(土) 4限授業(1限～4限)  
18日(月)～21日(木)  
3限授業および保護者懇談会  
22日(金) 終業日 1限・2限授業 集会・HR・  
大掃除(バス13:25)  
25日(月)～27日(水) 冬季特別授業・  
25日(月)～I期入試願書受付開始  
28日～ 生徒冬期休業

### 〈校長のひとこと……〉11月27日は創立記念日でした

明治41年11月に創立者の堀きさ先生が「多治見裁縫女学校」を創立されて109年目。その後さまざまな沿革を経て、現在の多治見西高そして附属中学があります。毎年この学校で学びたい人がいてはじめて学校は存在します。109年目の重みを感じながら150年、200年と歩みを進める学校でありたいと思います。